

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実 績												目標値	目標年度	指標の説明	
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度				
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)															
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	83.3%	84.8%	86.0%	86.9%	87.2%	88.0%	89.2%	89.8%	90.4%	90.7%	91.2%	91.7%	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100	
	汚水処理全体の内訳	下水道の整備	下水道普及率(%)														
		・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	69.4%	70.9%	72.4%	73.5%	74.3%	75.3%	76.7%	77.4%	78.1%	78.5%	79.5%	80.0%	92.6%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
		高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)														
		・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	69.4%	70.9%	72.4%	73.2%	74.0%	75.3%	76.7%	77.4%	78.1%	78.8%	79.5%	80.0%	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
		農業集落排水施設の保全、管理	農業集落排水処理人口普及率(%)														
		・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	3.4%	3.4%	3.1%	3.9%	3.9%	3.3%	2.9%	2.9%	2.8%	2.9%	2.7%	2.7%	3.1%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
		合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)														
		・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	10.4%	10.4%	10.1%	9.9%	9.3%	9.2%	9.3%	9.3%	9.2%	9.2%	8.7%	9.8%	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100
			合併処理浄化槽の基数割合(%)														
			24.0%	26.7%	28.2%	29.7%	31.3%	33.1%	34.3%	35.9%	37.2%	37.8%	38.8%	39.6%	100%	2030	・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント処理人口普及率(%)															
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.14%	0.14%	0.12%	0.12%	0.12%	0.11%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100	
	干潟・浅場造成事業	干潟・浅場造成面積(ha)															
	・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	4.7ha	7.5ha	3.1ha	2.0ha	2.6ha	3.8ha	6.8ha	17.9ha	17.4ha	16.7ha	3.6ha	2.6ha	471ha	2014～2038	干潟・浅場を造成した面積	
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)															
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	96%	92%	96%	96%	91.6%	100%	96%	95.8%	95.8%	95.8%	95.8%	100%	100%	毎年	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率	
		海域(COD)の環境基準達成率(%)															
		67%	33.3%	67%	67%	66.6%	66.6%	67%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100%	毎年	・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率	
水生生物調査	実施箇所数																
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所	52箇所	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所	3箇所	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数		
	延べ参加人数(人)																
	2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人	1,982人	1,354人	1,863人	494人	257人	1,479人	12人	前年増	単年			
流域モニタリング一斉調査	実施箇所数																
・住民と行政が連携、協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	131箇所	176箇所	139箇所	152箇所	70箇所	82箇所	106箇所	87箇所	80箇所	47箇所	91箇所	45箇所	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数		
	延べ参加人数(人)																
	422人	667人	452人	362人	352人	151人	443人	555人	494人	257人	306人	191人	前年増	単年			
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	施策実施状況(件)																
・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	188件	192件	200件	201件	205件	215件	217件	218件	219件	219件	—	—	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況		
三河湾環境再生プロジェクト	サポーター数(人)																
県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携、協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。						375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	2,126人	継続実施	継続実施	サポーター数			
河川・海岸の清掃	実施回数(回)																
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回	146回	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数		
	実施箇所数																
	152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	137箇所	前年増	単年			
	延べ参加人数(人)																
	25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	14,004人	前年増	単年			

めざす姿	指標とする取組	実 績											目標値	目標 年度	指標の説明	
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度				2020年度
豊かな水	森林整備の促進	間伐面積 (ha)											間伐面積 (ha)	4,000ha (県域)	2016 ～2020	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	1904ha	1,941ha	1,840ha	1,551ha	1,555ha	1,374ha	1,252ha	1,595ha	1,389ha	1,292ha	1,282ha	1,326ha			
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数											雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	206箇所	231箇所	163箇所	156箇所	211箇所	180箇所	84箇所	56箇所	37箇所	59箇所	39箇所	430箇所	継続 実施		
		雨水貯留浸透施設設置補助件数											雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年	
		340件	271件	286件	358件	309件	283件	236件	162件	116件	108件	137件	150件	継続 実施		
	透水性舗装の推進	整備面積(m ²)											整備面積(m ²)	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
	・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。								27,089㎡	38,879㎡	24,085㎡	48,008㎡	64,209㎡	継続 実施		
	ため池の保全	整備箇所数											整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	50箇所	48箇所	57箇所	59箇所	21箇所	19箇所	18箇所	5箇所	継続 実施		
多様な生態系	多自然川づくり	整備延長(km)											整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	継続 実施		
	干潟・浅場造成事業(再掲「きれいな水」)	干潟・浅場造成面積 (ha)											干潟・浅場造成面積 (ha)	-	-	干潟・浅場を造成した面積
	・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	4.7ha	7.5ha	3.1ha	2.0ha	2.6ha	3.8ha	6.8ha	17.9ha	17.4ha	16.7ha	3.6ha	2.6ha	-	-	
	ため池の保全(再掲「豊かな水」)	整備箇所数											整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	50箇所	48箇所	57箇所	59箇所	21箇所	19箇所	18箇所	5箇所	継続 実施		
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)											実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回	146回	前年増		
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施箇所数											実施箇所数	前年増	単年	
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	137箇所	前年増		
		延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)	前年増	単年	
	25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	14,004人	前年増	単年		
水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数											実施箇所数	前年増		単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所	52箇所	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所	3箇所	前年増	単年		
	延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)	前年増		単年	
		2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人	1,982人	1,354人	1,863人	494人	257人	1,479人	12人	前年増		
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)											整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.1km	継続 実施		
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)											実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回	146回	前年増		
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施箇所数											実施箇所数	前年増	単年	
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	137箇所	前年増		
			延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)	前年増	
		25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	14,004人	前年増	単年	

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績																												
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度																	
矢作川等流域	森づくり	水源地域の森林整備 ・(公財)矢作川水源基金の水源地対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備に要する費用の助成を行う。 おと川リバーヘッド大作戦【2019終了】 ・森林の除間伐、枝打ち、植樹等を行う。	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町、清水資源課 (※報告機関：黒水貴彦課)	間伐面積 (ha)										間伐面積 (ha)																		
				322.2ha	245.2ha	283.7ha	263.4ha	239.8ha	182.0ha	166.7ha	220.0ha	249.3ha	75.3ha	150.8ha	85.6ha																	
		新・豊田市100年の森づくり構想	豊田市	参加人数 (人)										参加人数 (人)																		
				128人	18人	43人	36人	43人	50人	121人	93人	96人	80人	97人	-																	
		自然環境基礎調査の実施	豊田市	間伐面積 (ha)										間伐面積 (ha)																		
				1,477ha	1,404ha	1,382ha	1,112ha	1,138ha	1,056ha	913ha	1,132ha	1,099ha	1,069ha	900ha	948ha																	
		額田木の駅プロジェクトの実施	岡崎市	調査実施の有否										調査実施の有否																		
				有	有	有	有	有	有	有	有	否	否	一部実施	一部実施																	
		間伐講習会	岡崎市	・岡崎市の森林で間伐した木材を額田木の駅プロジェクト実行委員会事務局が回収し、木材を地域通貨と交換する。 ・地域通貨は実行委員会で承認された商店などで使用する。	出荷量							出荷量																				
					1,303t							924t	1,001t	1,000t	1,001t																	
					出荷者数							出荷者数																				
					105人							108人	112人	112人	111人																	
					参加者数							参加者数																				
					12人							6人	12人	17人	30人																	
		森林整備講演会	岡崎市	・「岡崎市森林整備講演会・シンポジウム」を開催し、森林の公益的機能の向上の大切さの発信と、今後の森林・林業の在り方を討論する。	参加人数							参加人数																				
					43人							50人	115人	66人	1000人以上																	
	細づくり	湿地・湿原の保全 ・荒廃して失われつつある湿地を、市民団体の協力を得て保全整備する。	岡崎市	保全活動回数 (回)										保全活動回数 (回)																		
				24日	24日	21日	21日	21日	24日	24日	23日	26日	26日	21日	22日																	
		湿地・湿原の保全 ・希少な動植物が自生する湿地を保全する。	豊田市	保全箇所数										保全箇所数																		
				6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所																	
		農業水利施設の環境整備 ・生態系・景観に配慮した農業用の水路、ため池などの農業用水利施設の整備を行う。	西三河農林水産事務所	整備箇所数										整備箇所数																		
				1箇所	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	4箇所	1箇所 施工延長834m(歩道、橋梁整備)																		
水とみどりの森の駅事業 ・守り育てるべき「自然環境」と守り育てるための「地域活動」があり、市民が自然を学び、体験できる機会が提供され、交流が生まれる所を「森の駅」と位置づけ、森の駅(5箇所)、森の駅育成地区(4箇所)を指定し、各駅で環境保全活動、自然観察会等を開催する。		岡崎市	参加人数 (人)										参加者数 (人)																			
			1,356人	1,987人	2,541人	6,481人	6,735人	6,180人	6,954人	51,953人	54,255人	46,787人	43,628人	4,366人																		
生態系にやさしい水田の設置 ・里山を主体とした田園風景の維持、そこから育まれた生産物を消費者によって買い支えていくシステムを作る。		あいち豊田農業協同組合						設置箇所数・面積			面積																					
			12箇所					30箇所			33筆			11.98ha	12.26ha	15.37ha																
まちづくり		合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、進水管、雨水貯留施設等の設置を行う。	岡崎市	対策箇所数					-			-			-																	
				-					-			-			-																	
		スクリーン数(箇所)					-			-			-																			
		9箇所(累計)					9箇所(累計)					12箇所(累計)					24箇所(累計)					59箇所(累計)					-	-	-	-	-	-
		調整池整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量 (m ³)										整備容量 (m ³)																		
				-										1,874m ³			2,013m ³			8,624m ³					4,168m ³					-	-	-
	水田貯留施設の整備 ・農地を保全し、過去に浸水被害のあった市街地の上流で水田貯留施設を整備する。	安城市	整備箇所					-			-			13箇所			34箇所			50箇所												
			1箇所					1箇所			-			2箇所			-			-												
	乙川リバーフロント地区整備【2019終了】 ・乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした観光産業都市の創造するため、人道橋、プロムナード、園路整備などを行う。	岡崎市	園路の整備延長 (m)					-			1,272m			1,140m			990m			630m			1,050m			終了						
			-					1,272m			1,140m			990m			630m			1,050m			終了									

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員)	実 績											
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
矢作川等流域	川・里海づくり	干潟・浅場の造成 ・漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟浅場を造成する。	県水産課	干潟・浅場造成面積(ha)											干潟・浅場造成面積(ha)
		4.7ha	3.7ha	3.1ha	1.5ha	2.6ha	3.8ha	6.4ha	4.9ha	4.6ha	3.9ha	3.6ha	2.6ha		
		矢作川水辺ブラザ整備事業【2018終了】 ・岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園を一体に整備し、国が堤防の拡幅と低水護岸整備等を行う。	岡崎市	整備箇所数											整備箇所数
		1.67ha(累積)	1.67ha(累積)	1.67ha(累積)	1.67ha(累積)	1.93ha(累積)	2.1ha(累積)	3.4ha(累積)	1箇所 3.76ha(累計)	1箇所 3.88ha(累計)	1箇所	－ (2018年度で終了)	－		
		緩傾斜堤防の整備 ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。	西三河建設事務所	整備延長(m)											整備延長(m)
		850m	36m	35m	45.5m	388.7m	260m	259m	784.4m	－	329.9m	134m	79m		
		矢作川沿岸の水質保全 ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロールを実施する。	矢作川沿岸水質保全 対策協議会	パトロール回数											パトロール回数
		131回	131回	131回	148回	145回	156回	149回	158回	153回	154回	143回	157回		
		石川・光明寺川の水質活動	幸田町	実施回数(回)											実施回数(回)
		4回		17回	27回	27回	27回	27回	27回	2回	2回	－	4回	5回	
		実施箇所数											実施箇所数		
		2箇所		13箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	2箇所	2箇所	－	14箇所	150箇所	
		延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)		
		376人		1,924人	7,688人	7,789人	7,781人	8,207人	7,782人	－	－	－	－	－	
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、豊橋河川事務所、県水大気環境課 (※報告機関：豊橋河川事務所、県水大気環境課)	実施箇所数											実施箇所数
		50箇所	46箇所	43箇所	43箇所	36箇所	36箇所	50箇所	70箇所	65箇所	41箇所	3箇所	3箇所		
		延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)		
		1,943人	1,679人	1,834人	1,963人	1,400人	1,434人	857人	1,129人	185人	85人	6人	12人		
		干潟観察会の実施 ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きをもっていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	西尾市	実施回数(回)											実施回数(回)
		1回	1回	1回	2回	3回	3回	3回	3回	2回	2回	－	2回	0回	
		参加者数(人)											参加者数(人)		
		141人	208人	17人	99人	158人	126人	126人	126人	78人	－	46人	0人		
		「水のかんきょう楽校」(水風かん養林事業) ・明治用水土地改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうのは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう楽校」を開校し、水の大切さ・水源の森の役割・「水循環」などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用水土地改良区	啓発事業開催回数											啓発事業開催回数
		31回	29回	38回	18回	18回	26回	39回	26回	－	－	－	9回	7回	
		啓発事業参加者人数(人)											啓発事業参加者人数(人)		
		6,094人	6,276人	3,911人	1,201人	1,302人	1,309人	2,569人	－	－	－	－	－		
連携団体数(団体)											連携団体数(団体)				
14団体	21団体	21団体	21団体	21団体	26団体	37団体									
乙川サミットの開催【2019終了】 ・乙川に関係する団体(学校、造協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一室に会して、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に開催する。	岡崎市	参加団体数(団体)											参加団体数(団体)		
・討論 4団体 ・参加団体 不明	18団体	18団体	15人	204人	22人(7団体)	36人(11団体)	19人	10人	－	(2018年度から未実施)	－				
船遊び(乙川観光船事業)【2019終了】 ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数(人)											参加者数(人)		
3,894人	3,043人	2,467人	1,431人	1,728人	1,989人	2,098人	－	－	－	(民間事業移行のため削除)	－				
船遊び(乙川観光船事業) ・乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(GURUWA戦略)に基づき、乙川河川敷において、観光船運航やキャンプ事業など様々な民間事業を実施することで、当該地区で「常に何か面白いことが起きている」という市民及び来訪者の感覚を醸成し、河川空間の日常的な利用を促進させる。	民間実行委員会 (岡崎市)	利用者数(人)											利用者数(人)		
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
三河湾クルーズ「海の生き物調査隊」の実施【2019終了】 ・三河湾の現状を体感することで環境意識を高め、海の生き物観察や海のごみなどについての環境学習を実施する。	西尾市	参加者数(人)											参加者数(人)		
								94人	90人	－	－	－			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績																	
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度						
境川等流域 【課題】 ○上流3市1町(大府市、豊明市、みよし市、東郷町)は生活排水対策重点地域に指定されており、生活排水対策の推進が必要となっている。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。	森づくり	水質調査・森林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用水土地改良区	整備箇所(m ²)						-	-	-	-	-							
	郷づくり	湿地・湿原の保全 ・除草や竹の伐採をすることにより、カキツバタ群落の保護保全・増殖を図る。 ため池の保全 ・「蛸鈴の会」が、ため池付近の清掃、ビオトープ整備、緑化活動等を実施する。	刈谷市	除害作業実施回数(回)						-	-	-	-	除害作業実施回数(回)							
			大府市	実施内容						-	-	-	-	-							
				新池とその周辺の清掃						-	-	-	-	-							
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	刈谷市	ろ過スクリーンの設置数						-	-	-	-	-							
				遮集改善数						-	-	-	-	-							
				7箇所(累計)						9箇所(累計)	12箇所(累計)	15箇所(累計)	-	-	-						
				7箇所(累計)						9箇所(累計)	12箇所(累計)	15箇所(累計)	-	-	-						
				特定都市河川浸水被害対策法に基づく取組												実施内容					
				-	-	-	貯留施設:17,619m ³ ・透水性舗装:49,783m ² ・浸透トレンチ:1,320m ・浸透井:142箇所	○豊田市:1箇所(国本池) ○県河川課: ・貯留施設:27,429m ³ ・透水性舗装:63,805m ² ・浸透トレンチ:409m ・浸透井:85箇所 ・浸透井:171箇所	・貯留施設:29,197m ³ ・透水性舗装:63,805m ² ・浸透トレンチ:712m ・浸透井:85箇所	・貯留施設:42,210m ³ ・透水性舗装:63,364m ² ・浸透トレンチ:180m ・浸透井:30箇所	・貯留施設:31,467m ³ ・透水性舗装:68,656m ² ・浸透トレンチ:712m ・浸透井:85箇所	・貯留施設:34,439m ³ ・透水性舗装:33,116m ² ・浸透トレンチ:330m ・浸透井:88箇所	・貯留施設:45,621m ³ ・透水性舗装:65,977m ² ・浸透トレンチ:70m ・浸透井:1箇所	・貯留施設:77,752m ³ ・透水性舗装:68,515m ² ・浸透トレンチ:449m ・浸透井:62箇所	-						
				調整池整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。						整備容量(m ³)						整備容量(m ³)					
				6m ³						1,524m ³	32m ³	4,120m ³	-	-	30m ³	147m ³	0m ³				
油ヶ淵等 【課題】 ○流域の汚濁負荷量の約7割は生活系であり、生活排水対策を進めることが必要である。 ○油ヶ淵の流入河川は自流水が少なく、非灌漑期には河川湖沼での汚濁が見られることから、地下水のかん養機能の回復も必要である。	川・里海づくり	明徳寺川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	東浦町	実施回数(回)						5回	8回	6回	10回	10回	17回	15回	17回	-	14回	11回	8回
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	実施箇所数						18箇所	17箇所	14箇所	17箇所	21箇所	11箇所	14箇所	16箇所	6箇所	3箇所	9箇所	-
				実施箇所数						724人	696人	593人	273人	765人	405人	490人	508人	120人	97人	293人	-
				環境安全推進マニュアル導入(産地数)						GAP認証取得件数						GAP認証取得件数					
				20産地						24産地	25産地	27産地	28産地	31産地	28産地	150産地	22産地	10件	-	-	
				エコファーマー認定数(人)						エコファーマー認定数(人)											
				721人						719人	711人	707人	642人	634人	627人	3,525人	601人	1448人	1448人		
	まちづくり	調整池整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量(m ³)						2,763m ³	414m ³	6,859m ³	11,878m ³	326m ³	-	402m ³	5,064m ³	3,000m ³	5,124m ³	0m ³	0m ³
		生活排水対策モデル地区事業 ・毎年、油ヶ淵流域の1町内会を生活排水対策モデル地区に指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化啓発用品を配布し、実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 ・アンケート調査を実施し、実践活動の効果を確認する。	安城市	学習会参加人数(人)						110人	60人	90人	67人	36人	143人	20人	-	終了	終了	終了	終了
		アクション油ヶ淵(油ヶ淵水質浄化イベントの実施) ・油ヶ淵の水質浄化の取組発表や講演などを行い、地域住民の方々の水質浄化への意識の高揚を図る。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	参加人数(人)						約400人	約400人	約400人	約350人	約300人	約300人	約130人	230人	840人	240人	650人	約470人
		水田貯留施設の整備 ・農地を保全し、過去に浸水被害のあった市街地の上流で水田貯留施設を整備する。	安城市	整備箇所						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績											
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
油ヶ淵等	川・里海づくり	油ヶ淵の浄化対策	安城市、知立建設事務所	浄化施設の予定総容量（知立建設事務所、安城市）											浄化施設の予定総容量(m³)
		－		4m³	4m³	4m³	2m³	8m³	208m³	209m³	196m³	191m³	144m³	145m³	
		8.6ha		0.8ha	1.3ha	1.2ha	－	－	－	－	－	－	－	－	
		120m		－	－	－	264m	559m	425m	924m	417m	－	65m	200m	
		油ヶ淵水辺公園整備	知立建設事務所	整備状況											整備状況
		・天然湖沼で、広々とした水面を持つ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備。		公園実施設計 ・精度詳細設計 ・地質調査 ・希少種保全調査	公園実施設計	公園実施設計	一部造成工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中
		港湾環境整備事業	衣浦港務所	整備面積 (ha)											整備面積 (ha)
		・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。		－	－	－	－	－	－	造成土工1式 排水・給水工1式	多目的広場整備1式 防護柵1式	－	－	－	－
		油ヶ淵浄化デー(油ヶ淵周辺の清掃活動)	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大環境課 (※報告機関：県水大環境課)	延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)
		・毎年7月第4日曜日に流域4市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)と流域住民が清掃活動を行う。		3,380人	3,350人	3,050人	4,032人	4,378人	4,494人	4,578人	4,231人	4,103人	4,239人	4,087人	中止
				ごみの量(kg)											ごみの量(kg)
		2,040kg		1,300kg	3,740kg	5,860kg	4,100kg	2,070kg	1,730kg	1,050kg	1,110kg	1,020kg	1,170kg	－	
		水生生物調査	流域市町、県水大環境課 (※報告機関：県水大環境課)	実施箇所数											実施箇所数
		・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		6箇所	1箇所	6箇所	4箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	－
				延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)
		119人		29人	250人	273人	24人	23人	28人	158人	115人	14人	22人	－	
		油ヶ淵清流ルネッサンスⅡ(油ヶ淵流域水環境モニタリング)	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大環境課 (※報告機関：県水大環境課)	湖内COD(mg/L)											湖内COD(mg/L)
		・清流ルネッサンスⅡに基づく各種対策が油ヶ淵や河川など、流域の水環境にどう反映しているかを把握するため、また、地域住民に水環境の現状を把握してもらうために水環境モニタリングを実施する。		平均 5.9 mg/L	平均 6.6 mg/L	平均 6.8 mg/L	平均 6.8 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.5 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.7mg/L	平均 6.5mg/L	平均 6.6mg/L	平均 6.9mg/L
				湖内COD(mg/L)											湖内COD(mg/L)
		平均 6.5mg/L		平均 5.3 mg/L	平均 5.5 mg/L	平均 9.0 mg/L	平均 4.9 mg/L	平均 5.2 mg/L	平均 6.1 mg/L	平均 6.0mg/L	平均 4.1mg/L	平均 6.1mg/L	平均 7.5mg/L	平均 6.4mg/L	
			流域市町、県水大環境課 (※報告機関：県水大環境課)	湖内透明度(cm)											湖内透明度(cm)
平均 28.6 cm	平均 25.2 cm	平均 26.7 cm		平均 25.2 cm	平均 31.3 cm	平均 25.7 cm	平均 26.8 cm	平均 27.4 cm	平均 32.9cm	平均 27.5cm	平均 27.8cm	平均 24.0cm			
整備面積 (ha)											整備面積 (ha)				
0.3ha	0.3ha	0.3ha		0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	－	－	－	－	－			
三河湾沿岸域 (知多半島等)	森づくり <div>【課題】 ○華やかな河川環境が見られることから、自然に恵まれるおいを感じることでできる川づくりが必要となっている。 ○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○生活排水対策とともに、</div>	水辺環境整備事業	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha)											整備面積 (ha)
		・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。		0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	－	－	－	－	
		湿地・灌原の保全	阿久比町	保全回数(回)											保全回数(回)
		・湿地特有の生物や植物が生息・生育する場所の保全・整備を行う。		24回	24回	24回	24回	24回	30回	30回	36回	28回	26回	24回	
				参加人数(人)											参加人数(人)
		240人		240人	240人	168人	168人	210人	210人	252人	196人	156人	144人	144人	
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
		整備面積 (ha)											整備面積 (ha)		
		・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。		－	－	－	・張芝1式 ・公衆便所1式 ・排水工1式	張芝1式	2.1ha	防護策工1式 四阿工1式	手洗い場工1式	－	－	－	－
		矢勝川堤防における彼岸花の植栽	半田市	実施回数(回)											実施回数(回)
		・矢勝川の堤防と河川敷において草刈りを行い、彼岸花の少なくなった部分に補植を行う。		4回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	23回	－	1回	ほぼ毎日
				実施箇所数											実施箇所数
		1箇所		1箇所	18箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
			半田市	延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)
		107人		108人	240人	35人	35人	35人	72人	570人	690人	－	50人	計測せず	
		実施回数(回)											実施回数(回)		
		4回		7回	31回	31回	1回	2回	1回	3回	3回	－	12回	7回	
			半田市	実施箇所数											実施箇所数
		5箇所		5箇所	22箇所	19箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	－	12箇所	7箇所	
		延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)		
179人	280人	249人		176人	71人	131人	100人	199人	193人	－	1016人	575人			
水生生物調査	流域市町、県水大環境課 (※報告機関：県水大環境課)	実施箇所数											実施箇所数		
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		8箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	4箇所	3箇所	5箇所	10箇所	7箇所	7箇所	－		
		延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)		
120人		104人	90人	67人	122人	120人	54人	74人	80人	81人	249人	－			
水質浄化セラミックによる河川の水質浄化【2019終了】	南知多町	実施箇所数											実施箇所数		
・水質浄化に効果があるとされる水質浄化セラミックを設置し、水質浄化を図る。		－	－	－	－	－	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	－	－	－		
		延べ参加人数(人)											延べ参加人数(人)		
－		24人	24人	24人	24人	24人	－	－	－	－	－				